

(この用紙は資源保護のため再生紙を利用しています)

3月

巡回診療 日程表



◎毎月1回は保険証の提出をお願いします◎

会場	診療日	受付時間	担当医
見立	27(金)	2:00~ 2:30	担当医師
虫崎		3:00~ 3:30	
北小浦	6(金)	2:00~ 2:30	
黒姫		3:00~ 3:30	

会場	診療日	受付時間	担当医
鷲崎	11(水)	1:50~ 3:00	石塚医師
願	16(月)	2:00~ 2:40	大森医師
藻浦		3:10~ 3:40	
北鶴島	2(月)・23(月)	2:05~ 2:45	
真更川		3:00~ 3:40	

認知症は早期発見が大切です

としをとれば、ちょっとしたもの忘れは誰にでも起きることです。そのため単なる老化現象なのか、それとも認知症なのか、身近にいる家族でも気づきにくいものです。しかし、認知症は早期に発見し、治療を始めることで、進行を遅らせたり症状を和らげることができます。また、症状の軽いうちにご本人・ご家族でこれからの生活について考えることもできます。実際に認知症の家族を介護している人たちが、認知症の始まりと思われる変化をまとめたものがありますので、早期発見の目安として参考にしてください。これは認知症の診断基準ではありませんが、いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談することをお勧めします。

◎もの忘れがひどい

- ・今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ・同じことを何度も言う・問う・する
- ・しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ・財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

◎判断・理解力が衰える

- ・料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ・新しいことが覚えられない
- ・話のつじつまが合わない
- ・テレビ番組の内容が理解できなくなった

◎時間・場所がわからない

- ・約束の日時や場所を間違えるようになった
- ・慣れた道でも迷うことがある

◎人柄が変わる

- ・些細なことで怒りっぽくなった
- ・周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ・自分の失敗を人のせいにする
- ・「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

◎不安感が強い

- ・ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ・外出時、持ち物を何度も確かめる
- ・「頭が変になった」と本人が訴える

◎意欲がなくなる

- ・下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ・趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ・ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

